

芦屋町人口ビジョン 【概要版】

人口ビジョンは、芦屋町における人口の現状分析をもとに、将来展望を示すものです。基準となる人口は、国勢調査人口を基本とし、一部住民基本台帳や各種統計結果をもとに作成するものです。

人口の現状 [平成 22 年(2010 年)人口 15,369 人]

対象期間と目標年度

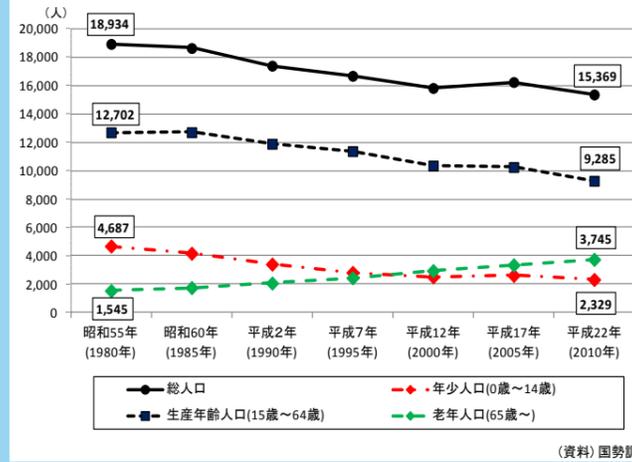
「芦屋町人口ビジョン」は、平成 27 年 (2015 年) を起点とし、対象期間は平成 72 年 (2060 年) までとします。

人口動向

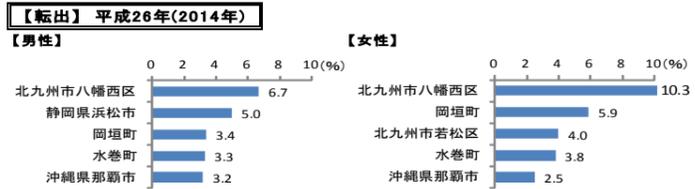
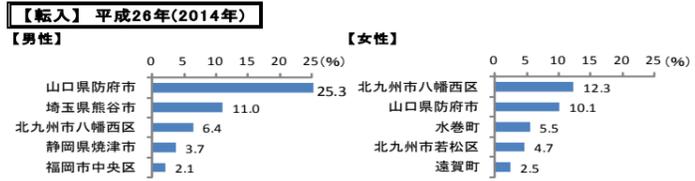
- 昭和 55 年 (1980 年) の 18,934 人から減少傾向で推移し、平成 17 年 (2005 年) に一時増加に転じましたが、平成 22 年 (2010 年) には、15,369 人に減少しています。
- 年齢 3 区分人口では、昭和 55 年 (1980 年) から平成 22 年 (2010 年) までの 30 年間で、年少人口は約半減、生産年齢人口は約 27% 減、老年人口は約 2.4 倍となっており、少子高齢化が顕著となっています。

- 転入、転出先では、本町と同じ航空自衛隊の基地がある自治体への、本人単身あるいは家族の転出、転入が一定規模あることを踏まえても、10 歳代後半から 20 歳代の若年層の中には、大学等への進学や就職に伴う転出の影響が多々あると考えられます。
- 基地間移動を除く転入元・転出先及び通勤・通学先では、八幡西区を中心とした北九州市をはじめ、遠賀郡内の 3 町がその大半を占めています。
- 合計特殊出生率は、昭和 58 年 (1983 年) から平成 19 年 (2007 年) までは、一貫して減少していたものの、平成 24 年 (2012 年) 時点では 1.67 に増加しており、国や県の水準を上回っています。ただし、平成 20 年 (2008 年) から平成 24 年 (2012 年) までの 5 年間に於ける出生数は、毎年 130 人前後で推移しており、合計特殊出生率の上昇は、出生数の増加につながっていない現状があります。

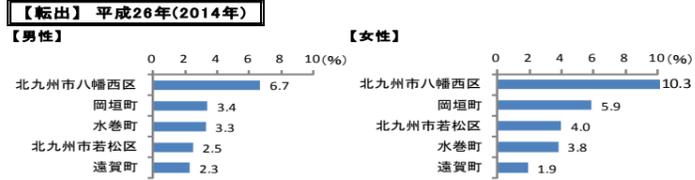
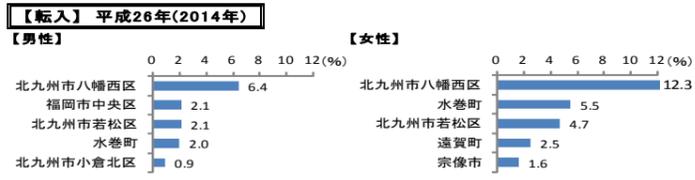
◆総人口及び年齢 3 区分別人口の推移



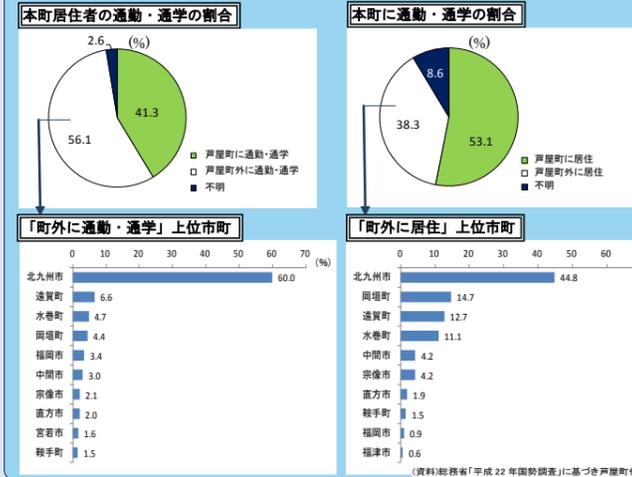
◆転入元・転入先上位市区町 [平成 26 年 (2014 年)・基地関係者含む]



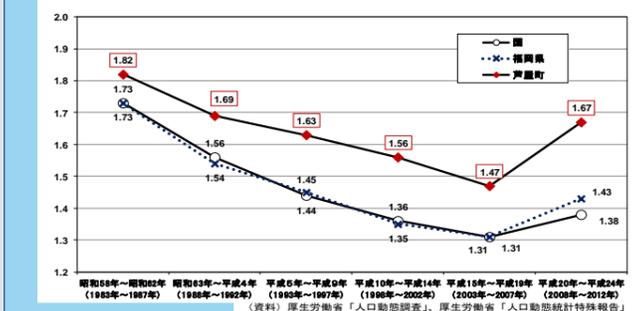
◆転入元・転入先上位市区町 [平成 26 年 (2014 年)・基地関係者除く]



◆通勤・通学先の状況 [平成 22 年 (2010 年)]



◆合計特殊出生率の推移



人口の将来展望 [平成 72 年(2060 年)人口 10,216 人]

人口推計

このまま何もしなければ、平成 72 年 (2060 年) 人口は 7,479 人まで減少

目指すべき将来の方向性

基本的考え方

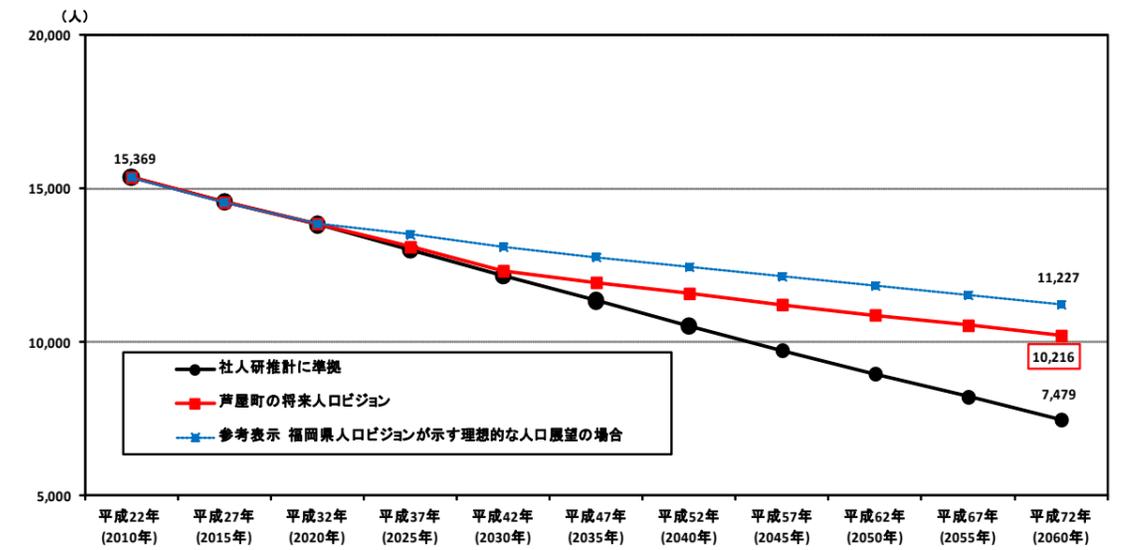
- ◆平成 47 年 (2035 年) をめどに人口の社会減を解消することを目指す。
- ◆人口の自然減を抑制するため、合計特殊出生率を平成 47 年 (2035 年) に人口置換水準「2.07」まで上昇させることを目指す。
※福岡県人口ビジョンの考え方に準拠

人口の将来展望

- ◆合計特殊出生率 仮定値
平成 47 年 (2035 年) から **2.07**
- ◆社会移動
平成 47 年 (2035 年) から **0**

- ◆将来展望
平成 72 年 (2060 年) 人口 **10,216 人**

◆人口の将来展望グラフ



	実績値		推計値								
	平成22年(2010年)	平成27年(2015年)	平成32年(2020年)	平成37年(2025年)	平成42年(2030年)	平成47年(2035年)	平成52年(2040年)	平成57年(2045年)	平成62年(2050年)	平成67年(2055年)	平成72年(2060年)
社人研推計に準拠		14,556	13,826	13,009	12,172	11,345	10,533	9,739	8,974	8,219	7,479
芦屋町の将来人口	15,369	14,556	13,859	13,107	12,326	11,948	11,586	11,224	10,884	10,548	10,216
福岡県に準じた理想人口		14,556	13,859	13,501	13,101	12,771	12,456	12,140	11,843	11,538	11,227

(資料) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に芦屋町作成